

ニホンザルの行動

子どもを抱いた母ザル

生まれたばかりの赤ちゃんは自分だけでは何もできないので、お母さんが抱いて守っています。赤ちゃんは、半年から1年くらいはお乳を飲みます。

毛づくろい

仲の良いオスとメス、母と子などでよく毛づくろいをします。毛についているフケ、ゴミなどもとりますが、コミュニケーションとしておこなっていることが多いようです。

石を転がす

石を転がして遊んだりします。片手でつかめるくらいの大きさが遊びやすいようです。

チェーンをさわる

チェーンにぶらさがったり、ゆらして音を出したりします。チェーンを使って移動することもあります。

子ども同士で遊ぶ

赤ちゃんたちも少し大きくなると、年の近いもの同士で遊ぶようになります。枝にぶら下がったり、レスリングや追いかけっこをします。

木をかじる

野生のニホンザルも、木の葉や木の実以外に、木の皮をはいで食べることもあります。歯みがきやイライラ防止にも役立っているのかもしれない。

マウンティング

群れの仲間の間で、強い弱いの間関係を確認するためにおこなっていると言われていましたが、最近では興奮した時に気持ちを静めるための行動だと考えられています。

鳴いている

群れの仲間に自分の居場所や危険が迫ったことを知らせるなど、仲間同士でコミュニケーションをとる時に鳴きます。何種類かの鳴き声があることが知られています。

寝ている

危険の少ない動物園では大胆にあお向けで寝る姿も見られますが、しりだこを使って木の枝や地面に座って寝ることが多いようです。